

連絡報 第一三九三號

連絡部 課

要員置	主任	復員課
配属先	局長	内政部長復

五七一六 琉球人の豊後身入其返留島の洋田家ニシテ

日本政府宛書

一九五三、一〇、A G O 一四、三三、五二、一三、二五) G D O . S c A P A I N 七四九三一A

イ、特許令(總司令)即ち日本政府宛書日 一九四七、一三、二九日附

A 4 4 0 1 0 1 3 3 3 (4 7 1 3 3 3 2 2) G O S C A P A I N 三三三二七 A

標題、五七一六 琉球人の豊後身入其返留島の洋田家の件

日入 復員日 一九四八、一〇、二二日附

A 4 4 0 1 0 1 3 3 3 (4 7 1 3 3 3 2 2) G O S C A P A I N 三三三二七 A //

標題、五七一六 琉球人の豊後身入其返留島の洋田家の件

前日、各各官署に函を以て、船名、日本出帆の予定期日及琉球島
に到着の予定期日等の諸々と共に、本會軍司令官に直轄に提出
せしむ。

四、豊後及豊後島、琉球島の副知事と交附し、左記の諸港
に取寄せしむ。

イ、奄美大島を離れ、琉球全諸島の住民に対しは——
沖繩の那覇

ロ、奄美大島の住民に対しは——奄美大島の各港

五、日本商船會社の運送は、近き將來に於て、利用し得る
ものとして、本に於ける、鹿児島、山口、司、長崎、
琉球諸島の各港、及那覇、同に利用し得る。是期、諸港の便を考慮され

六、

周朝に於てはし且

大に農肯又曲由由女台殿又邦國に於て。引渡した先

通直保

命に依